

協会の事業

令和元年度 第一回読字力検定試験

本年六月実施の読字力検定試験の結果は左記の通りでした。第二回（十月）、第三回（二月）でも、合格目指して頑張ってください。

- | | |
|---------|-------|
| 受驗學校數 | 五十七校 |
| 受驗者總數 | 一〇二三名 |
| 合格者 | 四八一名 |
| 合格証授與者數 | 一六八名 |
| 九級 | 一一八名 |
| 八級 | 六七名 |
| 七級 | 五六名 |
| 六級 | 四二名 |
| 五級 | 七二名 |
| 四級 | 三八名 |
| 三級 | 三六名 |
| 二級 | 二四名 |
| 一級 | 二九名 |
| 特一級 | ○名 |

第二十四回 全国書学校絵画展

今年度の審査会は、令和元年七月二十七日（土）に行われました。応募学校数三十二校、応募作品総数は四百三十七点でした。内訳は幼稚部十七校・九十六点、小学部二十四校・二百一十二点、中学部十三校・八十一點、高等部・専攻科九校・四十四点でした。今年度の最優秀賞、優秀賞受賞者は次の十六名です。おめでとうございます。

令和元年度第五十三回全日本聾教育研究大会（高岡大最優秀賞（二）点）並びに優秀賞受賞作品（十四点）は会場において展示されます。



最優秀賞 [文部科学大臣賞] (幼・小部門)
「ひまわりきょうりゅう」司咲太朗
葛飾ろう学校

私もアーティストでありますからこの審査会が忘れないでいた初心、基本を思い出し改めて考えさせてもらえるいい機会になつています。美術は言葉では表現しきれない思いを表し伝えることができます。また、感動や夢を与えてくれます。時に論理を超えて感性によつて作品づくりや鑑賞したりしていくものであります。あたりまえと思つてしていることにとらわれず描くというより自由に表現していいのです。

審査員 錦織 重治（日展会員・示現会会員）

そんなことを改めて考えながら皆さんの目線で限りなく思い感動されたであろうことを素直な目で審査をさせて頂くのですが実に大変な難しいことです。ということは、今回も受賞作品以外にもすばらしい作品が沢山ありました。

さて、その中で、今回の最優秀賞「文部科学大臣賞」には、小学二年生 司咲太朗さんの「ひまわりきょうりゅう」は、群生している花園の中できかなひまわりを見上げたときに夏の太陽をバックに自分に追いかぶさった花が恐竜に見えたのでしょうか。その様、感動がそのまま伝わり、また色彩も統一感があり佳い作品でした。もう一人の最優秀賞に選ばれた中学一年 佐々木れんとさんの「海の世界」は、太陽・波・魚「トビウオでしようか」と素直に自然感が表現され海の中と空との関係が不思議と絵的に面白く描かれています。地球上に優しさを求めているようにも感じました。

優秀賞には、十四名の作品が選ばれました。春原創太さんの、「きのぼりじょうず」は、子供猿が遊びで木登りの楽しさを覚えはしやいでいる様子が表現され、うれしくなりますね。豊田遙大さんの「火山！切株！」は、切株が火山に見えたのでしょうかその迫力が画面いっぱいに描かれていて元気を感じました。原沢快晴さんの「おーいこつちみて！」は、クジヤクが精いっぱい羽を広げて呼び掛けています。色も美しくおーいと言わなくとも目をひきつけますね。田中孝汰さんの「戦車が走る」は、画面いっぱいに描かれた戦車の走る轟音が画面から伝わるようです。山縣翔太さんの「遊んでうれしい」は、校庭か公園でしようか、いろいろな遊びや探検ができるような楽しい場所が描かれていてわくわくしますね。田中航平さんの「ラブラブインコ」は、そのまんまのラブラブ感が愛らしく伝わってきて、やさしく寄りそつている様が、心を優しくしてくれました。梁川大我さんの「かも」は、かもが特徴である色鮮やかさと空と水との取り合せがよく大胆で動きがあり力強くていいですね。南皓太さんの「魚市場で働く人」は、マグロ市で、たくましい人が力強く描かれそのうえ新鮮な海の香りをも感じていいですね。田中海さんの「にじ色のみつをすうど」は、この絵は特に虹色に加えて全体の色がカラフルで見る人を楽しくさせてく

れます。

朝付聖士さんの「私の実験器具たち」は、早く使ってと順番待ちしている感じと器具たちが歌っているようなリズムを感じました。ふじおかにいなさんの「ぼくせおきじようず」は、プールでしようかむずかしい背泳ぎを一生懸命に頑張っている様子が愛らしく水音も聞こえてきそうな楽しい絵です。池田傑史さんの「池に映る橋」は、とにかく爽やかな空気感が描かれていて気持ちが癒されますね。柳平恵翔さんの「木々を見つめて」は、林の中で大きな木を見上げて描かれ大木の迫力と動きがあり緑の爽やかさもいいですね。邑上愛莉さんの「爆発する前の地層の色」は、今にも爆発しそうな地層の沢山の色と特に顔の表情が豊かで更に画面を楽しくしてて絵的にいい絵となっています。

以上、講評をさせていただきましたが皆さんどの絵も描く喜び楽しさが画面いっぱいに表現されていて、どれをとっても審査をすることの難しさに苦心しました。日頃指導にあたつていらっしゃる先生方の絵を描く環境作りや指導方法に工夫されていることが伺え嬉しい気持ちでいっぱいです。私たち五名の審査員も一枚一枚丁寧に拝見しながら意見交換により選ばせて頂きましたが各々の主観の世界でもあります。審査委員長のもと最終に決定されたものです。解説不足をご容赦頂き、美術を通して心の豊かさ感性を育てて頂いていることに感謝しております。来年もまた我々にも刺激をもらえる良い絵に出会えることを楽しみにしていきます。

審査委員

錦織重治、矢澤健太郎、木脇康一
竹内一、松本未男



(3)

ひびき No.76

第十五回 全国聾学校作文コンクール

第四十二回 聴覚障害児を育てた お母さんをたたえる会

(土)に、第二次審査は九月十四日(土)に行われました。応募作品総数は昨年度とほぼ同じで一百六十一点でした。内訳は小学部(給日記・日記十七点を含めて)七十八点、中学部三十七点、高等部四十六点でした。今年度の入賞者は次の通りです。

金賞・文部科学大臣賞
栃木県立聾学校

金賞・全国聾学校長会会長賞
静岡県立浜松聴覚特別支援学校

金賞・聴覚障害者教育福祉協会会長賞
筑波大学附属聴覚特別支援学校

銀賞
天野 奏音(大塚校城東分教室)

銀賞
横川 丞(立川校)

銀賞
木村さくら(群馬校) 秋本秀翔(筑波校)

銀賞
小原 大(都・中央校) 宇山 日和(筑波校)

銅賞
仁宮 茉宝(大塚校) 上原 栄斗(大塚校)

銅賞
齊藤 来美(群馬校) 中岡 彩花(吳南校)

銅賞
高橋 龍生(筑波校) 山口 詩織(名古屋校)

金賞入賞者三名の表彰は、令和二年一月二十七日(月)の「第四十二回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」において、実施いたします。

また、同日、文部科学大臣賞受賞者は自身の作文を壇上で口頭発表します。

令和元年度受賞者 ●桜内義雄賞

今年度の桜内義雄賞には、植野圭哉さんが選ばれました。

市川市在住、和歌山県生まれ。六十五歳。昭和四十八年東京教育大学附属聾学校高等部卒業、東京農業大学に進学。卒業後は千葉市役所に勤務、傍ら千葉

今年度の「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は左記により開催いたします。日程調整の結果、当初協会が予定した日程から七週間遅くなっています。どなたでもご参加できます。多くの皆様のご来場をお待ち申上げております。なお、ご参加(参加費無料)の場合は「参加者名簿」作成のため、事前予約が必要です。協会事務局に電話、FAX、メール等で事前にご連絡ください。

日 時 令和二年一月二十七日(月)
午後一時~三時二十分

会 場 憲政記念館 東京都千代田区永田町

主 催 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

後 援 文部科学省 厚生労働省 東京都教育委員会

協 賛 全国聾学校長会 全国聾学校PTA連合会
株式会社日健総本社 他

次 第 一部 式典

会長挨拶 来賓祝辞 お母さんの表彰

桜内義雄賞授与 第十五回全国聾学校作文コンクール金賞受賞者表彰

第二部 発表会 聾学校児童生徒の舞台発表 体験発表

桜内義雄賞受賞者の体験発表 作文コンクール審査委員長講評 第十五回作文コンクール文部科学大臣賞受賞作品発表

第二十四回絵画展等ビデオ放映



ろう者劇団「九十九（つくるも）」を創設、大臣より税額控除に係る証明を受けております。

代表として活躍した。

また市役所在職中か

ら千葉県聴覚障害者

連盟理事長を務めた。

その後同連盟が社会

福祉法人となり千葉

県聴覚障害者協会となると、法人理事長となり、協会

内に千葉聴覚障害者センターを立ち上げ、理事長職と

ともにセンター所長を兼務し現在に至っている。

同センターは、千葉県在住の聴覚障害者の生涯にわたる生活支援、情報保障支援、福祉、介護から、文化的活動、質の高い手話通訳士養成、グループホーム運営を含む重複障害者への支援等々、幅広く多様な事業を繰り広げている。

ハマナス募金

当協会の事業は、公益財団法人JKA競輪公益資金の補助をはじめとして、皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。

皆様方のご理解とご支援に深く感謝いたしております。

今年度も計画事業の適正な実施に努めているところでございますが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もし

くは銀行振込にてお願いいたします。

名義 聴覚障害者教育福祉協会

銀行振込 みずほ銀行江戸川橋支店

普通口座 1615748

会長 山東昭子

当協会は、平成二十四年四月六日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受けております。

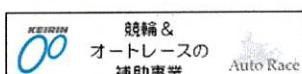
方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

（敬称略）

株式会社日健総本社（森伸夫）、田中美郷、木内弘司、聴覚障害者の結婚と福祉を支援する会、斎藤捷彦、春名英徳、小川勝江、関根正浩、高畠雅哉、佐藤和子、竹田統子、川村美津子、北海道高等聾学校（株）ATOMICS（山勝彦）、宮野忠夫、青森県ことばと心を育む会、佐々木節子、日焼順子、廣田栄子、大塚明敏、弘田文範、鈴木厚、関東地区聴覚障害者親の会連合会、大沼直紀、武田ビル（株）（武田智彦）、長野ろう学校、全国難聴児を持つ親の会事務局（田中真由美）、（株）大場組（大場利秋）、山本博美、西本徹、株式会社Pm-Japan（加藤聖治）、伏見殿下杯チャリティゴルフ実行委員会事務局、井上富美子、荒崎勝美、小島藤昭、坂井美恵子、成田久江、兵藤紀之、若宮幾馬、姫路聴覚特別支援学校白鷺会、神邊洋吾、青野雅子、青森県ことばと心を育む会、一般社団法人日本補聴器販売店協会、新潟県難聴児を持つ親の会（渡辺国正）、ライシャワークリーマー学園、リオン株式会社、中西千鶴子、リオン株式会社、全国聾学校長会

令和元年度

公益財団法人JKA競輪公益資金



一 事業名
令和元年度障害のある人が幸せに暮らせる社会
を創る活動補助事業

二 事業実施内容

(一) FM補聴システムの購入・無償貸与
送信機・受信機二十四セット
全国聾学校・聴覚特別支援学校、小学校、中学校、難聴幼児通園施設に在籍 在園する幼児・児童・生徒の家庭に貸与

○ お祝い

皆様もご存知のとおり、当協会の山東昭子会長は、この度参議院議長にご就任されました。このことをお祝いして去る九月十一日（水）「祝う会」を開催したところ、多くの協会関係者のご出席を得て盛大でしかも和やかな会となりました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

台風十五号の爪痕が、特に千葉県に大きく長く残りました。電気、水、電波等の重要性をいやといふ程思い知られました。早い復旧を望んでいます。

今号の発行の時期は十月ということで、理事会、評議員会の報告等年度当初の事業計画の部分と、読字力検定、絵画展、作文コンクール等事業が実際に実施された後の報告の部分とが混在することになります。最も大きな変更事項は、「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」の日程が、来年の一月二十七日（月）となつた点です。これ以外は委員会の日程が多少変更することなどがありますが、概ね順調に事業を実施できています。年度後半の事業の実施に関しましても、是非ご協力いただけますようお願い申し上げます。